

令和6年 2月 7日

鎌掛地区運営会

会 長

岡 幹 雄 様

『むらを良くする会』

会 長

竹 村 達 幸

「運営会・各区活動」等に関するアンケート調査結果から見える
活動改革等について（答申）

運営会から鎌掛地区の将来を考え、いつまでも住みたい住み続けたい村を創り上げるため、住民各年代層から広く意見交換を行い、また様々な意見に耳を傾け、課題等を掘り起こすために、令和5年度に前区長をメンバーとする『むらを良くする会』をお願いされました。

私たち『むらを良くする会』は、現在どんな課題があるのか、また鎌掛地区の将来に向けての意見を住民全体から聞くため『「運営会・各区活動」等に関するアンケート調査』を令和5年10月24日から11月10日にかけて実施しました。その調査結果は別紙のとおりであります。

その結果、回収率は、80.0%と高い数値となりました。特に、40歳代50歳代60歳代が高く、鎌掛地区の将来についての思いが強いことが伺えます。男女別に見てみると男性80.8%、女性72.5%となっています。性別不詳が22人もいるので、もしすべてが女性とすれば、男女同回収率となります。いずれにしても全体的に鎌掛の将来に関心が高いことが伺え知る結果となりました。

そのアンケート調査結果をもとに、私たち『むらを良くする会』は今後の人口減少や少子高齢化が進んでも、いつまでも住みたい住み続けたい村となるよう、鎌掛地区にある様々な活動や各組織について一定の改革等を見出しました。しかし、住民すべての意見を網羅できたとは思っていないので、再度アンケート調査結果を読み解き必要に応じて改革等をすべきと考えているのでそのことを申し添えます。

ついでには、鎌掛地区の代表組織である運営会としてベストな判断がなされ素晴らしい未来が訪れることに期待し、ここに答申をします。

1. 答申内容

以下に列記するが項目が多いため改革等には数年、数十年かかるかもしれませんが、地道な取り組みを期待します。

○問1の最低限必要な活動の問いでは、「ごみステーションの管理」「神社の管理」「川掃除」が最も多く、続いて「獣害対策」「運営会組織」「正法寺の管理」「自主防災活動」や「消防団活動」となっており、全年齢的にも多いため活動は続けてはどうか。また、数値が低いとして活動を廃止もしくは軽減する場合には、十分な議論が必要と思われます。また、身近な活動やあまり負担のかからない活動は良いが、河川の除草など大きな業務は一部有志化（有償化）する方法もあります。

○問2の今後改善が必要と思われる活動の問いでは、「常会の回数軽減」の意見が多いため早急に改善が必要と思われます。また、各種配布資料などは従来通り各戸配布とし、運営会のホームページなどを開設し、いつでも閲覧ができ情報を得ることができる体制整備は今の時代必要と思われます。

推進体制の見直しでは、「組の見直し」また、鎌掛全体を1～2区に統合するとの大胆なご意見もみられるため、役職削減も考えると今後検討が必要と思われます。検討に当たっては、「特別委員会」を立ち上げる方法もあり得ます。「いろいろな役をしたがまた当たるとなると嫌になる」とのご意見もあるが、健全な自治体組織を維持していくには一定必要なこととは思いますが、負担を感じない程度に軽減する必要があります。

○問3の運営会で継続して取り組んでほしい活動の問いでは、「防災・防犯対策」続いて「環境保全活動」となっています。安心安全で住みよい環境を維持するためには必要なことですが、活動内容の改善も必要です。また、「役場や町社協からの役職の軽減要望」も多いが、自治体の規模での選出となっているので、自治体の拡大つまり区の統合をすれば解決するのではないかと思います。自治会の統合については、行政との協議が必要となります。

○問4の自由な意見の欄には多くの意見が寄せられました。特に、60歳以上で男女問わず色々なご意見をいただきました。なかでも「空き家の活用」「観光資源を活かしたむらの活性化」「老後の居場所づくり」などが多いです。

「空き家の活用」では家主に再度意向調査を行い、空き家登録をして貸すまたは売買など積極的なアプローチが必要であります。その後、「新たな住宅地」の確保など検討してはどうでしょうか。また、運営会だけではないと思いますが、若い世代の意見が反映できる場、意見交換ができる場の設定が今後必要となってくると考えられます。また、大字経常費が高いという意見が多数みられるため、早急にしなければならない支出か、それとも次年度に送ることができる支出かなど、支出の内容や時期の再検討が必要と思われます。

2. 会議の経緯

第1回会議（令和5年 6月 7日）

○会長 副会長の選考を行い 会長 竹村達幸氏 副会長 野崎宗久氏 とする。

○当会における今後の具体的な活動の意見交換。

○当会として、大字での役割の確認。

○各組織に協力をお願いし、ディスカッション又は、アンケートを行い大字に対する

様々な意見を頂き、まとめていってはどうかの意見があった。

第2回会議（令和5年 7月 12日）

- 鎌掛地区あるとある団体とのディスカッションやアンケート依頼を申し出たが、時期が合わないことや当会としても質問など内容の趣旨がまとまっていないことから実施できなかった。
- 運営会の正副会長との意見交換をすべきではないかとの意見があり、後日その旨を両氏に打診し、快諾を得た。

第3回会議（令和5年 7月 26日）

- 運営会長・副会長同席のもと会議を開催した。
- 双方で意見を出し合った結果、住民に対してアンケートを実施することで双方の意見がまとまり、合意に至った。

第4回会議（令和5年 8月 31日）

- 再度、運営会長・副会長同席のもと会議を開催した。
- アンケートを作成する際に、鎌掛地区における将来の人口推移、各組織等の資料を用意し、アンケート作成の参考とする事に決定し、準備を進める事とした。

第5回会議（令和5年 9月 14日）

- 事前に作成した鎌掛地区における将来の人口推移、各組織等を参考としたアンケートを読み上げ検討した。
- 完成したアンケートを運営会長・副会長に確認してもらい、了解を得れば10月17日（運営会定例会）に各区長に配布依頼、説明等に出向く事とした。

（運営会定例会において）令和5年10月17日

- 運営会定例会の場において、各区長にアンケートの説明、協力依頼し了解を得た。

第6回会議（令和5年10月17日）

- アンケート用紙の準備、配布方法の進め方の意見交換。

第7回会議（令和5年11月14日）

- 各區で集まったアンケートの集計をする為、各區役員にてUSBにデータを入力するように依頼した。

第8回会議（令和6年 1月16日）

- アンケート結果のまとめの見直し、修正、校正作業。
- 各区長に今回行ったアンケートの感想を依頼する事で話をまとめた。
- 今後、当会から運営会に対し答申をすることを決定し、参考とした仮の答申書の見直しを各自に校正の依頼をした。
- 2月のかやのニュースに、2回目のアンケートの結果を踏まえた文章を掲載する事とした。

○アンケートの集約、集計したものを全戸に配布する事とし、製本作業を1月26日に行うことにした。

(運営会定例会において) 令和6年 1月17日

○当会の正副会長が運営会定例会に出向き、各区長にそれぞれの区内のみの集約したアンケート結果を渡し、その感想文を1月末日までにかやの会館まで提出してもらうように依頼した。

○当会にて作成しアンケート結果を2月初旬、区別にて全戸配布を依頼し了解を得た。

アンケート結果の製本作業後第9回会議(令和6年 1月26日)

○運営会に対し、答申する内容を読み上げ校正した。

○運営会正副会長への答申は、2月7日午前中に行うこととし、その話し合いの内容については、改めてその内容について会議を開くこととした。

以上 第1回会議(令和5年6月7日)～第9回会議(令和6年1月26日)
議事録

3. アンケートの結果 別添のとおり

4. 『むらを良くする会』のメンバー(令和3・4年度区長)

会長	竹村達幸	(第4区)
副会長	野崎宗久	(第3区)
	奥村芳泰	(第1区)
	奥村利一	(第2区)
	平尾義明	(第5区)
	竹村憲司	(第6区)

5. 『むらを良くする会』のメンバーの感想

このアンケートの各区単位別集約結果を見て『むらを良くする会』のメンバーによる感想を掲載する。なお、どの区かはお知らせしないのであしからずご了承を願います。

○今回のアンケートについて、何も考えなければ回答することができることも、考えたら考えるほど何も答えられなかったと思います。

○隣組の出来事もわからないのに鎌掛全体のことは答えられないと思いました。特に若い人の回答に「わからない」とされた方が多かったように思います。

○色々な役を担当し、社会に参加して行って役を順番に回すことが鎌掛を良くなることだと感じました。

○問1について

1～24の「最低限必要と思う」取り組みについて

必要とする取り組み内容が10%に満たないものについては

見直し、削減対象として考えてもよいのではないか。

○問2について

毎月行なわれている字常会の省力化を望まれている方が大半である。

1、2、3、5番は50%以上の方が望まれている内容であり、抜本的改革が必要である。思い切った組織改革等が望まれている。

○問3について

1、3、5、6番の活動を望まれています、特に役場行政からの役職の軽減要望が強く望まれている。

○問4について

今回のアンケートの内容を見ると、若い者の意見を聞いてほしいと書いているが、具体性に欠ける内容が多い。若い人の意見を言える環境づくりが今後特に必要である。人口減少、高齢化が進んでいく中で、住みよい環境を維持するためには、経済的出費は避けられない。その方向に進めて行かざるを得ないだろう。行事、イベントが多い。そのために役が発生し大変であるという意見がかなりあり、削減要望が出されている。公民館行事や村の行事削減、省力化が望まれている。具体的な行事内容を詰める必要あり。

○常会の必要性・見直しが多く問われている。

○組の見直し意見が多い。

○女性の登用（できる組織）を考えてもよいのでは。

○各組織の在り方・役職等が把握していない（組織図を作るとか）

○回収率の高さに住民の思いを感じた。

○今回実施したアンケートの結果、字全体において回収率80%には私自身の予想を超えており、それだけ住民の方々の関心が集まり、意味深いものであったことは事実として受け止めなければなりません。

それ故、当会に対し期待を寄せられている事が一層の重圧、責任感を感じております。特に、問4において様々な意見等を頂いた事は住民の本音であり、公の場においてなかなか声に出せない事柄が多く寄せられ、有意義なことだと感じました。

さて、これからアンケートの分析を基に、少なくとも改革に向けて着手しなくてはならないのですが、個人的には身近な事柄にターゲットを絞って、当会役員が足並みを揃えて行くことが必要だと思っています。

これから先においても、役員会議を行います。改革に向けてスムーズな進行に終始し、当会役員各位に協力をお願いして現段階での感想とします。

○高い回収率に驚いた。みなさん鎌掛の将来について心配や不安を持っておられること、また思っても中々口に出して意見が言えない、機会がないことが伺いしれる。

○問1の最低限必要な活動の問いでは、「ごみステーションの管理」「神社の管理」「川掃除」が最も多く、続いて「獣害対策」「運営会組織」「正法寺の管理」「自主防災活動」や「消防団活動」となっており、全年齢的にも多い。

○問2の今後改善が必要と思われる活動の問いでは、「常会の回数軽減」の意見が多

い。推進体制の見直しでは、「組の見直し」また、鎌掛全体を1～2区に統合するとの大胆なご意見もみられる。「いろいろな役をしたがまた当たるとなると嫌になる」とのご意見もあるが、健全な自治体組織を維持していくには一定必要なこととは思うが、負担を感じない程度の役割軽減は必要であると思われます。

○問3の運営会で継続して取り組んでほしい活動の問いでは、「防災・防犯対策」続いて「環境保全活動」となっている。「役場や町社協からの役職の軽減要望」も多いが、自治体の規模での選出となっているので、自治体の拡大つまり区の統合をすれば解決するのではないかと思います。

○問4の自由な意見の欄には多くの意見が寄せられました。特に、60歳以上で男女問わず色々なご意見をいただいた。中でも「空き家の活用」「観光資源を活かしたむらの活性化」「老後の居場所づくり」などが多い。「人口減少・高齢化は避けられないので活動の見直しが必要です。『むらを良くする会』の今後の取り組みに期待しています。」や「アンケートだけに終わらずに実行をお願いします。」などと期待と厳しいご意見をいただき、やりかけた以上頑張らないと思いました。

○回収率を見ると如何にも住民の皆さんの関心度があるかと思いますが、回収のやり方にも数字に影響を及ぼしているのではないかと思います。本当に何とかしなければと考えている方は、問4の意見を述べるべきかと思います。

私の区の場合、問4に対する回答は16人かと思われますが、回収した分のおよそ24%程度という結果です。元々の配布人数から見るとわずか18%となります。

本当にこれがアンケートを行い、関心度があると判断して良いものでしょうか。そのように考えると、問2や問3の回答もただ『○を付けて下さい。』の指示による安易な考えでされているもの、収集に来られるから○でもしとこか・・・と思えて仕方ないのは私だけでしょうか。

何度もあったという意見を聞き、アンケートがどうなるというものでも無い事を住民の方々にご存知でしょうか。元を正せば鎌掛を良くする会そのものの存在を知っておられない方が殆どだという事に残念な思いで、アンケートが始まりました。ですが、一応の役務は遂行させていただきましたので、今後の活動は次の役員を交代するのか、そのところ知りたく思います。

6. 各区長の感想

令和5・6年度区長

会長	竹村一男	(第2区)
副会長	杉村信明	(第5区)
	池内徳雄	(第1区)
	居永威王	(第3区)
	野出芳弘	(第4区)
	中野秀美	(第6区)

次に、各区長にもこのアンケートの各区単位別集約結果を見て、感想をお願いしたので掲載する。なお、同様にどの区かはお知らせしないのであしからずご了承を願います。

① 問1について

- ゴミステーション・川掃除・獣害・防犯等、生活に密着した取り組みが必要との結果である。その様な中で神社管理・運営会組織も必要と思われる。今回のアンケートは最低限必要な取り組みは何？であり、煩わしいと思われる活動は敬遠されている傾向であるが、各取り組み活動の趣旨・内容・効果等が知られていないとも思える。
- ほとんどが半数以下なので住民さんはいらないと思っているものを無駄に継続していることになる。3分の1以下のものは、廃止の検討を早急にして方が良い。
- 区民は生活に直結するゴミステーションの管理・川掃除・河川愛護(堤防草刈り)には半数以上の方が必要と回答しています。しかし、交通立ち番・女性会活動・老人会活動・敬老会・人権啓発・観光対策・伝統野菜日野菜栽培は10名以下で必要性を感じている方が少ない結果となっています。
- 交通立ち番・敬老会・人権啓発・観光対策の見直し検討。
- 最低限必要と思う取り組み？個人がどのような思いで取り組みが必要と思われるかわからないので、一言で意見などできないですが、○を付けられた根拠等がわかればもっと有意義な意見になるのでは？また、年齢の高い方々ほど、現在から将来に向け鎌掛の在り方に不安も含めて意見を持っておられるのだなあと思いました。
- 必要性が低いと思われる活動は、次の4つです。10.交通立番、14.女性会活動、16.敬老会、17.人権啓発。これらについては、活動の見直しが必要と思われます。

②問2について

- 活動体制については圧倒的に見直しが必要との回答が多い。具体的には、区・組の統合、役職数の削減、常会の見直しが必要との意見が多い。やはり、昔のままの体制維持は難しく、また、一気にすべて改革できないので、何点かに絞って整理して進めるべきである。
- 役職の統合・廃止を早急に対応したほうが良いと思います。区・組の統合の意見もあるが、慎重に考えたほうが良いと思います。常会はいらないと私は思います。しかし、代用の検討は必要です。
- 現役で会社勤めをしている方からは、ボランティア(無報酬)の役が多過ぎる事から仕事に支障がある。(企業なら人員削減を検討するが行政は字に指示するだけ?)地域住民人数に合った団体と人員のみに変更・削減する必要があります。(例)交通安全委員の立ち番は必要なのか?目が合うとお辞儀をして交差点での確認行為がおろそかになり危険なので無くしては?交通安全協会に交渉してどうしても受け入れ無いならば、見守り隊(老人会)でまとめて対応していただけないか?
- 3で常会開催見直しが50%近くあり、問4の意見でコロナ渦でも問題がなかったとの意見もあったが、そうなれば区長・区長代理等仕事が増えるのではないかなど検討したい。
- 私も役職の整理(統合・廃止・規模の見直し等)が必要ではと思います。人が少なくなってきた中で、同じ体制は無理があると思います。もう少し身軽のな

っても良いのでは？意見を読ませてもらうと、その通りと思うことや勝手だなあと、その分誰かが動かないといけないあと思う意見や調整が大変だなあと感じます。

○運営会の活動省力化を多くの人が望んでいるようで、特に「常会」についての意見が多い。（廃止・削減等）最近の常会への参加者は、半数以下と少なく削減してみてもどうか。

③問3について

○これも、役職の低減化、区の統合の意見が多く、防犯対策・空き家対策も求められている、実生活に直結した取り組みが重要である。

○運動会に要望が少ないように見えた。運営会の活動をあまり知られていないように思えた。縁の下の力持ちになっていると思いました。

○常会は毎月・全員参加を強制するのではなく、今後は見直しをする必要を感じた。組によっては5・6軒のところもあり、隣組の再編成も放置できない。

○防災・防犯対策・環境保全活動は当然として、「役場や町社協からの役職の軽減要望」の問題に一番に取り組むべきでしょう。

○皆さんが○を付けられたとおりの希望があると思います。

○以下の活動について継続が望まれているようです。・防災防犯対策・環境保全活動。また、町からの役職依頼の軽減要望もあります。

④問4について

○普段から考えていることをしっかり訴えている、何事も軽減化の意見が多いが、村の良さを残す意見も散見される。良い意見が多いので、もう少し意見を整理して分析する必要がある。

○役職の低年齢化の解消を考えてほしいと思います。「高齢者のご意見番の意見に左右されすぎて若年者の意見は二の次になっているのが鎌掛を悪くしているのでは」・・・という意見に心を打たれた。

○色々な意見があり、非常に参考になりました。

○「むらを良くする会」の“むら”に対して大変な嫌悪感を持たれている意見がありビックリです。とりあえず、「鎌掛を良くする会」に改名してはどうか？

⑤区長としていつまでも鎌掛に住みたい住みたいためにアンケートの結果を見て、今後どのような（見直しなど）をしていったらよいかをお聞かせください。

○近年は人の希薄化が進んでおり、地区のコミュニケーションが薄れている。人口が減る中、今まで通りの活動は無理であると思います。何事においても人口に見合った小規模化して見直し改革を進める必要があります。また、子供たちが大人になり地域を離れても、ふるさとの良さを思ってくれるような活動も必要だと思います。又、参考となる他地域との意見交流会も行い参考にすべきと考えます。

○思い切った改革が必要だと思います。ほとんどの役職の廃止の検討が望まれます。若年者は日野の他地区と比べているのではなく、日本全体の住みやすいまち、住みたいまちと比べています。抜本的に今までの事にとらわれなくて、日本一

住みやすいむらとは？理想郷についてまず意見を出し合って、それに近づけるようにすれば、おのずと住み続けたい鎌掛になると思います。

○オール鎌掛での編成・人選の対応を検討していただけないでしょうか？（湖南サンライズは鎌掛より軒数は多いが区長は1名らしい）

○色々な意見があり、非常に参考になりました。その中で、できること、できないこと、時間がかかるとこ、また具体的な構想のあるもの等に整理されて進めていくしかないと思います。たくさんの事を一度にせず、ひとつずつ地道に進んでください。非常に大変なことだと思います。

○鎌掛地区の人口変化が激しい（人口減少・高齢化の上昇）ので、5～10年先を据えた活動の改善・見直しが望ましい。

以 上